▼愛知高等養護学校の生徒の皆さんが織り上げた作品

愛知高等養護学校　テキスタイル作品展

愛知高等養護学校の卒業生によるテキスタイル作品展が、ゆめまちテラスえちで開催されました。

この作品展は、「先が見えない不安より、先にある無限大を」をテーマに企画され、これから社会へ出る卒業生が「のれん」をくぐるように一歩前へ踏み出してほしいとの思いから「のれん」を制作されました。

生徒たちは、今までお世話になった方々への感謝の気持ちを込めながら、色やデザインを考えて織り上げました。

色とりどりのテキスタイル作品は、来館者の方へ一歩前に踏み出す勇気を与えていました。

▼優勝した剣士の皆さん

新金岡親子剣道クラブ錬成大会 入賞

３月３日、新金岡親子剣道クラブ錬成大会が金岡公園体育館（大阪府堺市）で開催され、愛知川剣心会の４チームが入賞しました。

小学３・４年の部（女子）チーム　３位
堀内 心菜さん、障子 千珂菜さん、三輪 楓佳さん、西村 琴寧さん、武立 栞奈さん
中学生男子の部Ａチーム　３位
青木 航太朗さん、岩佐 元奨さん、近藤 蓮桜さん
中学生男子の部Ｂチーム　ベスト８
細江 葉太さん、原田 大士さん、森 藍生さん
中学生女子の部　３位
村山 詩織さん、武立 唯桜さん、西川 美心さん

▼愛知川びん細工てまり保存会の方に教わる児童

びんてまりストラップを姉妹校に

３月７日、秦荘西小学校で５年生のびんてまりストラップ製作体験が行われました。

児童たちは、愛知川びん細工てまり保存会の皆さんに教わりながら、地割された小さなまりに、一つ一つ丁寧に針を刺して模様をつけていました。

児童たちは「色々な色の糸を選んで作るのが楽しい」「今度は自分のストラップも作ってみたい」と嬉しそうに話していました。

完成した64個のびんてまりストラップは、秦荘西小学校の姉妹校である福井県越前町立城崎小学校に送られました。

▼「読書でガチャコン」で表彰された子どもたち

令和５年度「読書でガチャコン」表彰式

３月９日、令和５年度の「読書でガチャコン」の表彰式が秦荘図書館で行われました。

「読書でガチャコン」は楽しみながら読書ができるように読書記録をつける取組で、近江鉄道株式会社の協力により図書館主催で開催しています。今回で４回目となる表彰式には、前回に引き続き、近江鉄道のマスコットキャラクター「駅長がちゃこん」が来てくれました。

受賞者の方々は「読書は楽しい」「いろんなことを知ることができて勉強になる」「物語の世界に入るのが楽しい」と話していました。

～「読書でガチャコン」今年度も開催中！～

▼優勝された柔仁会の皆さん

滋賀県大会三連覇 全国大会出場

３月10日、第44回滋賀県少年柔道大会が長浜伊香ツインアリーナで開催され、県内29チームが出場しました。

団体戦では、愛荘町柔道スポーツ少年団　柔仁会が優勝（３年連続）を果たされ、５月５日に講道館（東京都文京区）で開催される全国少年柔道大会へ出場されました。

出場選手
大西 蓮皇さん、佐藤　湊さん、篠原 優希さん
杉本 洋進さん、村川 侑樹さん、結城 海翔さん、渡部 蓮翔さん

▼至誠館の皆さん

第44回滋賀県少年柔道大会 入賞

３月10日、第44回滋賀県少年柔道大会が長浜伊香ツインアリーナで開催され、至誠館から４名の選手が入賞されました。

入賞した選手
２年生女子の部 優勝　大菅 あやめさん
６年生女子重量の部 準優勝　青木 真歩さん
６年生女子軽量の部 ３位　田中 友香さん
２年生女子の部 ３位　山内 心々來さん

▼花植えをする生徒の皆さん

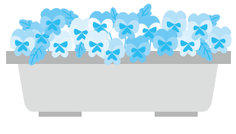
愛知高等養護学校 春の花壇づくり

３月14日、愛知高等養護学校の１年生の皆さんに役場愛知川庁舎前の花壇へ花の苗を植えていただきました。

苗は、矢車草とパンジーの２種類で、県立甲良養護学校の皆さんが大切に育て、愛知高等養護学校へ贈られたものです。

生徒たちは「丸い花壇なので、まっすぐ植えるのが難しいです」「こんなにたくさん植えるのは初めてです。植えるのにコツがいりました」と話していました。

色鮮やかな春の花壇は、来庁された方の心を癒していました。



▼募金活動を企画した運営委員会の児童たち

秦荘東小学校　被災地へ届けたい

３月15日、秦荘東小学校の児童から役場へ義援金が手渡されました。この義援金は、1月1日に発生した能登半島地震を受け、運営委員会の児童が各クラスを回って募金を呼びかけたもので、多くの児童や保護者の皆さんが協力し、43,378円集まりました。

運営委員会の児童たちは「たくさんの人が協力してくれました。少しでも被災地の人の力になれると嬉しいです」と話していました。

また、募金をした児童は「家族で七尾市に行き、崩れた家を目の前に、辛い気持ちになりました。今回募金活動を知り、お年玉から募金をしました。被災地の人のために使われると嬉しいです」と話してくれました。

この募金活動で集まった義援金は、町から赤十字を通じて被災地での支援に活用されます。